

がん薬物療法専門医のコラム 第15回

第11回市民公開がん講演会 が無事開催されました。

皆さん、こんにちは。

8月26日に茅野市民館におきまして NPO 法人 5years の代表理事を務め、ご自身も進行がん治療をご経験され、それを乗り越え、精力的に活動されている 大久保淳一 氏を特別講演にお招きして 市民公開がん講演会を開催いたしました。

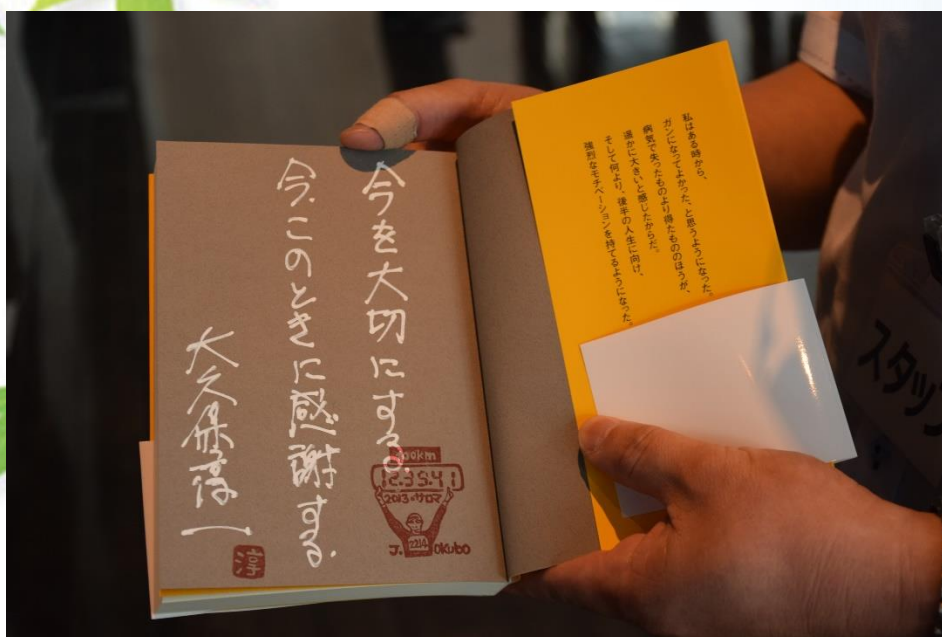
この講演会の統括をしていた関係で、今回はお越しいただけなかった方にも大まかな内容がわかるようにお伝えしたいと思います。

特別講演に先立ち、当院院長補佐兼呼吸器科部長の蜂谷先生による、肺がんを中心としたがん薬物治療の概説の講演がありました。最近よく話題に上る免疫療法もからめ、がん治療の現在地を皆様におしめしできたものと思います。

特別講演は、大筋は、大久保氏ご自身の著書『いのちのスタートライン』に沿って、普通の日常を送っていたご自身が、あるきっかけで、がんであることが分かり、仕事、家庭生活、趣味その他諸々の影響を感じながらも、ご自身の強い気持ちと、ご家族をはじめとする周囲の暖かさに支えられ、仕事、家庭生活、趣味その他もすべてあきらめずに、日々大切にいきているという、前向きな気持ちを産み出す、元気になる講演であったと思います。

『人生にはいつでも何度でもチャンスがあります』という大久保氏の言葉に力づけられた方が数多くいたのではないかと思います。

その後のサイン会では、サインともに、ご自身が入院中に壁にはっていた元気の出る言葉の中から好きなものを選んで書いてくださいました。
ちなみに私は写真のように書いていただきました。



立場上、大久保氏の奥様やお子さん達ともお顔を合わせる機会を持ちましたが、それぞれのお顔を見て、大久保氏の活力の元を実感しました（ご家族の方々も大変立派な方でした）。やはり、家族というものは大切なもので、私も自分の家族を大切にしたいとつくづく思いました。

では、また。